

立教大学教育活動推進助成

社会学研究科「グローバル・メディア研究B」

調査報告書

2016年3月

研究担当教員

是永論（プロジェクト責任者）

林怡夔

井手口彰典

黄盛彬

立教大学教育活動推進助成

社会学研究科「グローバル・メディア研究B」

調査報告書

目次

報告書によせて

黄盛彬

..... 2

【報告1】

台湾ひまわり運動におけるソーシャルメディア利用：運動参加に対する影響

島崎顕北 ヨウセンセン インブンブン チョウキン

..... 4

【報告2】

韓国ドラマの恋愛

胡汀 田叢卉

..... 32

【報告3】

韓国における日本アニメの普及と受容

トゥホルスキ・ミハウ 裘若霜

..... 59

報告書によせて

この報告書は、2015年度の立教大学大学院社会学研究科科目「プロジェクト研究 B」のグループ調査研究の最終報告書である。

「プロジェクト研究」科目は、社会学研究科前期課程の必須科目として通年開講され、修士課程1年生は、5つの提供科目のうち、一つを必ず履修しなければならない。そのうち、本プロジェクトは「グローバル・メディア研究」をテーマとし、グローバルな展開を見せているメディアの状況について、主に東アジア地域をフィールドに調査研究を展開することを目的とするものであった。昨年度に続き、本年度も本プロジェクト科目には、他の4つのプロジェクト科目に比べ、多くの履修者が集まり、各自の修論のテーマは、メディア研究、コミュニケーション論だけではなく、ジェンダー論、家族研究など多岐に渡った。そのため、昨年度には、当初のプロジェクト研究のテーマの幅を拡大して、受講生の自主性に任せる運用を行ったが、本年度は、担当教員グループのほうで、複数の研究テーマを提案する形で指導を行い、「メディアと社会運動」をテーマとするグループと、「メディアとポピュラカルチャー」をテーマとするグループに分かれて、調査研究を遂行することとなった。

本年度においても、昨年度と同様に、4人の教員による共同担当となり、前期と後期をそれぞれ二人の教員が担当する体制をとった。前年度同様に、前期中は、研究グループの問題意識に基づく研究計画を立案し、それを先行研究の購読を交えて吟味していくとともに、全体的に一貫した調査プロセスとしてデザインした上で、適切な調査対象者を選定・グループ化していった。その結果、以下の三つの調査研究が遂行された。

まず、第一報告の『台湾ひまわり運動におけるソーシャルメディア利用-運動参加に対する影響』は、2013年3月に起きた台湾ひまわり運動を事例に、台湾の大学生を対象としたアンケート調査とインタビュー調査から、ソーシャルメディアの利用と運動参加に対する影響を考察している。第二報告の『韓国ドラマの恋愛』は、韓国の恋愛ドラマにおける女性像の分析に加えて、現地調査を行い、韓国の女子大学生と中国人留学生へのオーディエンス調査を行った。ローカル・オーディエンスとトランスナショナル・オーディエンスの二つの異なるグループの間で、韓国ドラマに描かれている女性像及び恋愛をどのように受け止め、解釈を行っているのかを調べた。第三報告の『韓国における日本アニメの普及と受容』は、日本アニメの最大輸入国である韓国での日本アニメの受容の現状を、ローライゼーションの文脈から把握するため、現地でのアンケート調査とインタビュー、そしてフィールドワークを駆使して、調査研究に取り組んだものである。

本年度は、各グループの調査研究のため、韓国ソウル市、台湾・台北市でのアンケートやインタビュー調査を実施した。現地調査のためには、延世大学、梨花女子大学、成均館大学（以上、韓国）、天主教輔仁大学（台湾）から協力を得た。また、本年度も、昨年度

に続き、台湾・天主教輔仁大学伝播学院との合同ワークショップ（本年度は輔仁大開催）に、本プロジェクト研究の担当教員及び院生が参加して、それぞれ研究報告を行った。参加した院生グループのメンバーは、初めての英語による研究報告に取り組むこととなり、熱心に取り組んだ。

最後になるが、初めての共同研究の調査報告をまとめることができた履修生の労をねぎらいたい。また、本プロジェクト科目における各種の調査の実施にあたって、多くの先生方から協力をいただいたことに、深く感謝を申し上げたい。

2016年3月

黄 盛彬